

《課題名》 転移性脳腫瘍に対する多標的定位放射線照射の安全性と有効性に関する後ろ向き研究

《研究対象者》

2016年 6月 1日より 2018年 9月 30日までに滋賀医科大学附属病院放射線科において転移性脳腫瘍に対する多標的定位放射線照射（ピンポイント照射）を施行された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名： 転移性脳腫瘍に対する多標的定位放射線照射の安全性と有効性に関する後ろ向き研究

研究期間： 承認日（2018年 11月 30日）～2023年 9月 30日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》放射線科《氏名》河野直明

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

現在、多発転移性脳腫瘍症例では全脳照射が選択されることが多いですが、局所制御は図れるものの脳萎縮の問題があります。多標的定位放射線照射（ピンポイント照射）にてその問題の解決が期待できます。一方、照射精度に依存して標的位置の誤差（的はずれ）が大きくなりやすいとも考えられています。当院での照射精度、線量分布、及び、画像検査結果などを用いて、多標的定位放射線照射の安全性・有効性などを調査し、今後のより良い治療方針を検討する為に今回の研究を立案しました。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

この研究は、2016年 6月 1日より 2018年 9月 30日までに多標的定位放射線照射を施行された方を対象に、滋賀医科大学学長承認日から 2023年 9月 30日にかけて行います。カルテからの診療情報と画像検査、及び照射記録（腫瘍の位置情報、線量分布）を用いて標的位置と局所制御の関係、脳萎縮、予後などについて後ろ向きに検討を行います。

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、2019年 2月 28日までに下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 放射線科 青木健

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

メールアドレス：kaoki@belle.shiga-med.ac.jp